

(別紙 2 )

試験結果の判定基準

1． 告示第 4 条第 1 号に係るもの

試 験 項 目		記 号	判 定 基 準	根 拠 法 令
3 5℃における蒸気圧又は容器内圧		A	ゲージ圧力 0 . 8 M P a ( 液化フルオロカーボン ( 可燃性のものを除く。 ) である場合にあっては 2 . 1 M P a ) 以下であること。	政 令 第 2 条 第 5 項 第 8 号
容器の 内 容 積		B	3 0 cm <sup>3</sup> 以下であること。	告 示 第 4 条 第 1 号
高 圧 ガ ス の 種 類		C		
毒 性 ガ ス の 有 無		D	無いこと。	告 示 第 4 条 第 1 号

2． 告示第 4 条第 2 号に係るもの

試 験 項 目			記 号	判 定 基 準	根 拠 法 令
高圧ガスの種類			A	液化フルオロオレフィン 1 2 3 4 y f のみ、液化フルオロカーボン 1 3 4 a のみ又は液化フルオロカーボン 4 0 4 A のみであること	告示第 4 条第 2 号本文
容 器	内 容 積		B	1 0 0 0 cm <sup>3</sup> 以下であること。	政令第 2 条第 5 項第 8 号
	材 料		C	鋼又は軽金属であること。	告示第 4 条第 2 号イ
耐	フルオロオレフィン 1 2 3 4 y f	1 . 8 M P a 以上の圧力による容器の変形	D	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ハ
		2 . 2 M P a 以上の圧力による容器の破裂	E	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ハ
圧 能	フルオロカーボン 1 3 4 a	1 . 9 M P a 以上の圧力による容器の変形	F	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ヘ
		2 . 3 M P a 以上の圧力による容器の破裂	G	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ヘ
力	フルオロカーボン 4 0 4 A	3 . 4 M P a 以上の圧力による容器の変形	H	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ト
		4 . 0 M P a 以上の圧力による容器の破裂	I	無いこと。	告示第 4 条第 2 号ト
容器内容積／充填質量			J	液化フルオロカーボン 1 2 3 4 y f の場合にあっては、 1 1 2 cm <sup>3</sup> ／1 0 0 g 以上であること。 液化フルオロカーボン 1 3 4 a の場合にあっては、 1 0 1 cm <sup>3</sup> ／1 0 0 g 以上であること。 液化フルオロカーボン 4 0 4 A の場合にあっては、 1 2 4 cm <sup>3</sup> ／1 0 0 g 以上であること。	告示第 4 条第 2 号ロ

3． 告示第4条第3号に係るもの

試 験 項 目			記 号	判 定 基 準	根 拠 法 令
容 器	内 容 積		A	1 0 0 0 cm <sup>3</sup> 以下であること。	政 令 第 2 条 第 5 項 第 8 号
	材 料		B	材料に鋼若しくは軽金属を使用した容器又は内容積 1 0 0 cm <sup>3</sup> 以下の容器（ガラス製の容器にあつては、合成樹脂等によりその内面は又は外面を被覆したものに限る。）に充填されたものであること。	告 示 第 4 条 第 3 号ハ
	二重構造容器における噴射剤の排出機構		C	噴射剤を容易に排出することができる機構を有すること。	告 示 第 4 条 第 3 号ヌ
3 5℃における蒸気圧又は容器内圧			D	ゲージ圧力 0 . 8 M P a 以下であること。	告 示 第 4 条 第 3 号本文
耐  圧  能  力	5 0℃における容器内圧		E		
	5 0℃における容器内圧の 1 . 5 倍又は 1 . 3 M P a における容器の変形		F	無いこと。	告 示 第 4 条 第 3 号ニ
	5 0℃における容器内圧の 1 . 8 倍又は 1 . 5 M P a における容器の破裂		G	無いこと。	告 示 第 4 条 第 3 号ニ
高圧ガスの種類			H		
可  燃  性  ・  毒  性	毒性ガスの有無		I	無いこと。	告 示 第 4 条 第 3 号本文
	人体に使用するエアゾールの噴射ガスの種類		J	L P ガス、D M E （ジメチルエーテル）又はフルオロカーボン 1 5 2 a 以外の可燃性ガスを含まないこと。ただし、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器法」という。）第 1 4 条の規定により厚生労働大臣の承認を得た医薬品若しくは医薬部外品又は医薬品医療機器法第 2 条第 3 項に定める化粧品のうち、水が全質量 4 0 % 以上でかつ、噴射剤が全質量の 1 0 % 以下であつて、内容物をあわ状若しくはねり状に噴出するものについては、この限りでない。	告 示 第 4 条 第 3 号イ
充 填 率	エアゾール	3 5℃における内容物の体積／容器内容積	K	9 0 % 以下であること。	告 示 第 4 条 第 3 号ロ
	エアゾール以外	液化ガスの充てん量（L P ガスの場合温度 1 5℃における比重）	L	A ／ L （L P ガスの場合 A ／ 1 , 0 0 0 L）が容器保安規則第 2 2 条表の下欄に掲げる定数以上であること。	告 示 第 4 条 第 3 号ロ
4 8℃における容器からのガス漏れ			M	無いこと。	告 示 第 4 条 第 3 号ホ